



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12:30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第16回 通算1087回 平成20年10月28日(火) 晴

ゲスト 片山主水地区ガバナー 宮崎薫地区幹事
 ビジター (なし)
 出席報告 川淵啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	10/14 修正出席率
53名	42+3名	31名	68.9%	98%

司会進行 大島嗣雄 SAA

歓迎のことば

大岩一仁会長



皆さん、こんにちは。まず、我々の仲間の安藤佳和さんと山口修一さんのご冥福を祈っての黙禱に際しましては、片山ガバナー、

宮崎地区幹事にもご協力を頂きましてありがとうございました。ロータリーの友情に感謝致します。山口大先輩は、豊川宝飯ロータリークラブ設立の時の拡大委員ということで、チャーターの私はロータリーについて色々教えて頂きました。安藤佳和君は、本年度の副幹事として、私のサポートをしてきていました。この数日の間に仲間のロータリアンを二人も亡くすということは非常に悲しく寂しいことです。しかし、寂しがっているばかりではダメですから、お二人の分もロータリー活動を頑張りたいと思います。

本日は、片山ガバナーをお迎えしての公式訪問合同例会です。例会前に両クラブ合同の会長幹事懇談会が行なわれまして、片山ガバナー、そして宮崎地区幹事より、いろいろとご指導を賜りました。ありがとうございました。ご承知のように、本年度RI会長のテーマは「夢をかたちに」です。そして地区方針は、「持続可能な

前進！！ 組織運営で、奉仕活動で、会員増強であります。毎月発行される地区報のガバナーメッセージのコーナーには、この地区方針が具体的に載っていますので、毎月、良く読んで勉強をさせて頂いておりますが、まだまだ勉強不足ですので、本日のガバナーの講話を聞きまして、さらに勉強をして、今後のロータリー活動、クラブ運営に反映させたいと思っております。本日はよろしくお祈いします。

ガバナーのご紹介

宮崎薫地区幹事

片山ガバナーのご紹介をさせて頂きます。もう皆さんご存知だと思います。名古屋東南ロータリークラブ所属で、ご職業は



弁護士です。1995年にクラブ会長、そして1997年に犬飼ガバナーの時の地区幹事を経験され、その後、2006年にガバナー補佐をされ、本年度の地区ガバナーをお勤めです。お仕事の方では、いろいろと公職も受けられ、現在は愛知県公務災害補償審査会の会長をされて、弁護士会でも活躍をされている方でございます。

ガバナー講話

片山主水ガバナー

皆さん、こんにちは。只今ご紹介いただきました片山主水であります。今年度ガバナーを仰せつかり



ました。よろしくお願い申し上げます。

今日は公式訪問の機会を得まして訪問させていただきました。このように歓迎いただきまして大変有り難うございます。例会前に会長・幹事の方々と懇談させていただき、今年度の会長方針、重点目標などをお聞きしました。クラブにおいて、R Iテーマに従い、地区方針に沿って、最善の活動を計画し実行されていることをお聞きし、大変心強く感じました。会長を中心に副会長・幹事さんのもとに結束してやって頂ければと思います。

さて、この公式訪問の短い時間のなかでお伝えしたいこと、お願いしなければならないことなどが沢山あります。重要なお願い事項の6項目について時間の関係上、核心部分だけ触れます。会長・幹事さんより次回に皆さんに詳しくお話しいただくことを頼みました。ゲイツ財団ポリオチャレンジ1人1,000円を3年間お願いします。会員増強については、地区委員長は「チャレンジ6000」3年間で1,000人増と張り切っています。各クラブとも、過去の最大会員数であったところまでをお願いします。「増強」が「増弱」にならないように注意しながら進むことをお願いします。財団・米山記念奨学への寄付金の件で、地区平均以上のクラブは+を、平均以下は平均までお願いします。地区大会が、この11月15日・16日に名古屋名東クラブのホストによりウェスティンナゴヤキャッスルにおいて小泉純一郎元首相を特別講師に行ないます。よろしくお願い致します。地区史のご購入をお願いします。当地区と2600地区とが1987年分離独立して昨年20年を迎えました。分離時、その10年経過時に地区史を編纂し、今年度出版します。1冊2000円ですので宜しくお願い致します。来年6月に開催される世界大会パーミングハムにお誘い合わせのうえ、ご参加頂ければ幸甚であります。実行委員長が日本の田中元理事です。なかなか行く機会のな

いところですよ。どうぞ、無理のないところで大会開会式と本会議のR I会長スピーチ日本人朝食会と分科会1つ、是非ともスケジュールの中に組み込んで頂くといいと思います。

さて、触れずに済まされないのが、R Iテーマの強調事項と地区方針の重点事項ですが、簡単に触れます。R Iテーマは、「夢をかたちに」です。強調事項は、水保全、保健・飢餓救済、識字率向上です。地区方針は、「持続可能な前進！！」重点事項は、ロータリーの綱領・目的の再確認 地区分区クラブの組織整備 調和の奉仕 人的物的基盤の維持強化です。「持続可能な前進」という言葉は1972年ローマクラブが将来的な世界人口の爆発的な増加と経済の急激な拡大は食料生産・天然資源に対し無制限ではありえず成長には限界があり、これら諸要素の負の遺産である地球環境の悪化はこのままでは差程遠くない時期に人類を死滅に至らせるであろうと警鐘を鳴らした報告書「成長の限界」に源を有しています。この警鐘は全世界の人々に注意するよう呼びかけただけでなく、政者に目を向けさせ地球規模の対策を呼びかけるとともに、全世界の企業と人々に欲望の自制を呼びかけたものでした。その後のリオデジャネイロの地球サミットなどで盛んに言われたのが「持続可能な」という用語です。「持続可能な前進！！」はこれにならうものです。

重要事項のうちの「調和の奉仕」についてお話しします。この調和の奉仕の趣旨は、奉仕は奉仕以外のロータリー活動と程よい調和の中でも奉仕の分野・方法においてもバランスのとれた奉仕にいろいろあります。たとえば、物の奉仕と心の奉仕、汗による奉仕と金による奉仕、救うと助ける、与えると育てる、財団・米山。「調和の奉仕」の1は社会奉仕・職業奉仕・自己奉仕の3つが調和よくなされることが重要です。奉仕の相互間での調和の1つです。皆さんご存じの通り、ロータリーの奉仕には「超我の奉仕」の理念に基づく、いわゆる社会奉仕と言われる奉仕の分野があります。社会的弱者に対する救済を主とした人道的奉仕・次世代育成活動等の分野です。現にロータリーの奉仕と言えば、いわゆる社会奉仕が大きな奉仕分野を占めています。超我の奉仕というのは滅私奉公、則天去私というような自分を無にしてする奉仕ではありません。最もいい奉仕をする者、最も多く報わ

れる、という考えによる職業奉仕の分野があります。「最良奉仕の最多果報」という考え・理論による職業奉仕の分野です。ロータリーの綱領は、ここの所を何と言っているか「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを鼓吹育成することにある」と言っています。文章が簡潔に過ぎて少し判りづらいですが、事業の基礎として書いてありますから 職業奉仕のことを言っているということです。

ロータリーの綱領が社会奉仕に触れていないので、近年、RIはロータリーの理念を加えました。理念は、ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。しかし、問題はロータリーの憲法である綱領に一言も社会奉仕について触れないということは、ロータリーで最も重要な文章だけに、その弊害は想像以上に大きいというのが、私の入会以来の第一印象であり、長年の思いです。職業奉仕とは今言いましたように、最良奉仕の最多果報の考えに基づいて最良の仕事・サービスを提供するその職業の遂行そのものであるということです。最良奉仕というのは、最善の磁力・最上の質のサービスの提供であります。この質の中には、物理的な質と倫理的な質。この最良のサービスを提供するまでの一連の行為が職業奉仕です。サービスの供給を受けるについてはロータリーは何も言っていません。受ければその後必ず提供がある筈ですから、その時点でその一連の行為を問題にすればいいと考えているのでしょう。私も適正な対価で購入するというだけでいいのでは。最良の職業の遂行そのものが職業奉仕ということですから、考え方としては難しくありませんが、難しいのは品質の向上、倫理の向上の実践です。しかし物理的な質の向上のことは、ロータリーがやらなくても、商工会議所・職業関連団体が一番適任ですからそこに任せておけば良い。ロータリーはそれを会員に声高に強調すれば良い。倫理の向上、倫理基準の向上は、まさにロータリーこそがやるにふさわしい、敢えて言えばロータリーの専売特許であると思われるのであります。実はこの視点ロータリーが何を自己の管轄範囲守備範囲とするか、ロータリーの本分は何かという視点も大事な事。世間の実状を見てもお判りのようにこの実践が局面により相当に難しいの

です。このような職業奉仕といわゆる社会奉仕という2種類の奉仕分野の外に私はもう1つの奉仕分野があるのではないかと考えています。これが今日の話のポイントの1つです。昔から、修身・齐家・治国・平天下と言います。ロータリーでも外に向かって奉仕をしようという前に、内に向かって奉仕をする。当の本人の修身・人格修練・切磋琢磨・人間向上のことがなければなりません。教養を深める、人格を高める、人間の巾を広める、ロータリーもロータリアンも明確に、社会奉仕、職業奉仕とともに自己のためにする。人間向上を目的にしなければならないと思っています。

「調和の奉仕」その2は、奉仕と親睦との調和です。奉仕と奉仕以外のロータリー活動の調和です。ちょっとそれますが、ロータリーソングに我等の生業という歌があります。「我等の生業さまざまなれど、集いて図る心は一つ、求むるところは和らぎ睦み、力むるところは向上奉仕」この歌は高名な明治・大正時代の作詩高野辰之、作曲岡野貞一の手になるもので、二人とも教授で文部省唱歌「ふるさと」「朧月夜」「春がきた」「春の小川」「紅葉」「日本の旗」などを作っています。この高名な二人にロータリーは、ロータリーソング作詩作曲を依頼したということに感心しますが、こういう人の手による歌だということになればまた違った目で見ます。我等の生業さまざまなれど、集いて図る心は一つ、求むるところは和ら睦み、力むるところは向上奉仕。職業は多様、心は一樣、対句になっています。求めて止まないものは、和らぎ睦み、心の平安と親睦だと言っています。しかし、義務として務めなければならないものは、人間向上と奉仕だと言っています。和らぎ・睦みと向上・奉仕のそれぞれの短い語句の中にも対比があります。やわらぎ・心の平安は、個々人一人の心の問題、睦み、親睦は人と人との間に生じる心の通い、次の人間向上は当人一人のうchiに向けた研鑽、奉仕は人より他人との間の外向けの行為、対比対句で格調高い詩であることが判ります。親睦と奉仕、会員同志の親睦の前には心のやわらぎ（自分の心）平安を置き、外に向かう奉仕の前には、まず自己の向上を唱え、実にロータリーの核心を突いています。この歌が言うこの親睦と奉仕は言うまでもなく、ロータリーを支えている重要な要素です。この2つの関係は、2本柱といわれています。同質の柱ではないようです。2本柱だとしても1本は縦に立つ柱、もう1本は横に土台部分に使われる土台柱

です。また、車の両輪に昔から例えます。両輪でも左右の両輪ではなく前後の両輪です。ロータリーの目的の奉仕は前輪でハンドルに直結し車の行き先や方向性を与えどこへでもロータリーを導きます。親睦は後輪でエンジンに直結し活力を生み出し車を動かします。一方の奉仕はクラブを導き、一方の親睦の方は下から押し上げる。2つはそういう関係でしょう。そういう関係ですから奉仕も親睦も両方とも不可欠のものであります。ある人は言います、親睦も目的ではないですか。しかし、そうではないと思います。まず、一つの理由は、親睦は親睦の中から奉仕の活力を生み、奉仕の心を育むもの、そういう位置付けのものです。親睦自体はロータリーを支えるものです。奉仕はロータリーを導くもの。親睦は楽しいものです。奉仕は楽しいものではありません。却って、苦しいもの、厳しいもの、いやなものです。目的というものは元来そういうものです。その代わりその目的を達成した時の喜びはまた格別のものです。奉仕は喜びを感じずるものです。奉仕は喜びを感じ、親睦は楽しみを味わうものです。喜びの精神状態は楽しみ精神状態より一段と高次の精神状態です。親睦を楽しみ奉仕を喜びを感じロータリーはちょっと生き甲斐を感じる。そんな訳で親睦は奉仕と同様なロータリーの目的にまでは昇格できません。親睦は人間向上・研鑽の場ではありますが両者は違います。親睦は人間向上・研鑽の場を提供し奉仕の心・意欲を育む場を作りますが奉仕そのものではありません。奉仕がロータリーの存在価値に関するものであり、親睦は存立基盤に関することです。以上が親睦と奉仕の関係です。この二つの調和が大事です。奉仕は奉仕以外のロータリー活動と調和しなければなりません。公式訪問に難しい話をさせていただきましたが何かの参考になればと思います。クラブと会員皆様方の益々のご健勝とご発展を祈念します。ご静聴有難うございました。

御礼のことは 中杉和雄豊川RC会長

本日は、片山ガバナー、宮崎地区幹事には、大変お忙しい中、公式訪問を頂きまして誠にありがとうございました。ガバナー



からRI会長方針、そして地区方針など、私たちが良く説明できなかつたことを、わかりやすく説明を頂きましてありがとうございます。例会前の会長幹事懇談会におきましても、いろいろとご指導賜りましてありがとうございました。私たちは4ヶ月終わって、残り8ヶ月をしっかりとやって参りたいと思います。

また、豊川宝飯RC皆様方には、安藤佳和君が亡くなられて数日という悲しみの中、ホストクラブをして頂きまして大変ありがとうございました。本日は大変ありがとうございました。

ガバナーとの会長幹事懇談会

例会前に、ガバナーとの会長幹事懇談会が豊川市RCと合同で開催されました。



会報担当者：太田稔会員、樫山修一会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。